

料金別納郵便



岩瀬健一 展 —粉引に挑む—

令和3年6月17日(木)~23日(水) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時（最終日23日は午後5時まで）

作家在廊日：会期中、全日在廊予定

陶歴	昭和21年	東京に生まれる
	昭和41年	松井康成先生に師事
	昭和43年	辻 清明先生、辻 協先生に師事
	昭和47年	八王子市に独立築窯
	昭和60年	第8回 日本陶芸展 入選、以降、入選多数
	昭和61年	松屋銀座にて個展 以降、29回開催
	平成10年	第45回 日本伝統工芸展 入選、以降、入選多数
	平成18年	日本工芸会正会員に認定
	平成21年	第3回 菊池ビエンナーレ展 入選
	令和2年	第13回 現代茶陶展 入選 他、全国各地で個展開催

岩瀬さんは、篤実なるお人柄で敬愛する陶芸家のお一人です。私か家業を手伝うようになってからの十年ちょっとのお付き合いですが、もう随分と古くからお世話になっている様な気がします。

さて、難しい時世になってしまい、八王子の岩瀬工房を訪ねる事もままならず、本展のDM用にと最新作の茶碗（粉引、伊羅保、柿ノ蒂の三碗）を送って頂きました。早速、開梱したのですが、どれも一風ある茶碗で、思わず笑みかこぼれるほど嬉しくなりました。

昨今のコロナ禍により、岩瀬さんは作陶三昧だったそうで、茶碗作りに一心不乱に取り組まれたからか、また齢を重ねて心境の変化があったからか、お送り頂いた三碗は、これまでの岩瀬茶碗の良さも残しつつ、これまで以上の品格と存在感を兼ね備えた茶碗達でした。特に、粉引手の茶碗は、白くて深いなまめかしい肌合いに加え、ゆるやかにうねる口作りと、高台周りの削りの調子が特に私は気に入りました。使い込むうちにこの粉引手がどの様に進化していくのか、楽しみでなりません。

弊廊で三年振りとなる本展では、最新作の茶陶に加え、普段使いの食器や酒器など約100点の最新作を発表致します。どうぞご高覧頂ければ嬉しいです。

店主 安田尚史

柿の葉ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com
<https://www.kakiden.com/gallery/>

公式Instagram



コロナ禍の影響で、会期と作家在廊日等の変更や、オンライン展示のみの可能性もございます。
お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式SNSにて、最新情報をご確認頂ければ助かります。

